

製品名: JAM-A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12826**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	F11R
別名	F11R; JAM1; JCAM; Junctional adhesion molecule A; JAM-A; Junctional adhesion molecule 1; JAM-1; Platelet F11 receptor; Platelet adhesion molecule 1; PAM-1; CD321
遺伝子 ID	50848.0
SwissProt ID	Q9Y624
免疫原	抗血清は、ヒト F11R の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

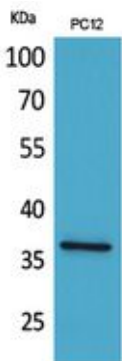
背景

タイトジャンクションは、上皮細胞または内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。この免疫グロブリンスーパーファミリー遺伝子メンバーによってコードされるタンパク質は、上皮におけるタイトジャンクション構築の重要な制御因子です。さらに、コードされるタンパク質は、(1) レオウイルスの受容体、(2) 白血球の移行に関与するインテグリン LFA1 のリガンド、および(3) 血小板受容体として機能します。同じタンパク質をコードする複数の 5'選択的スプライシングバリエントが同定されていますが、それらの生物学的妥当性は確立されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 上皮タイトジャンクション形成に役割を果たしていると思われます。細胞接合の原始的な形態の初期に出現し、PARD3 をリクルートします。PARD6-PARD3 複合体の会合は、PARD3 と JAM1 の相互作用を阻害し、タイトジャンクションの形成を阻害する可能性がある(類似性による)。上皮バリアの完全性に関わる単球の遊走を調節する役割を果たす。血小板の活性化に関与する。オルソレオウイルス感染時には、ウイルスの受容体として機能する。、PTM: N-グリコシル化。、類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。、類似性: 2つの Ig 様 V 型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。、細胞内局在: 上皮細胞と内皮細胞の両方のタイトジャンクションに局在する。、サブユニット: MPDZ の 9 番目の PDZ ドメインと相互作用する。PARD3 の 1 番目の PDZ ドメインと相互作用する。PARD3 と PARD6B の会合は、おそらくこの相互作用を阻害する。オルソレオウイルスシグマ-1 カプシドタンパク質と相互作用する。、

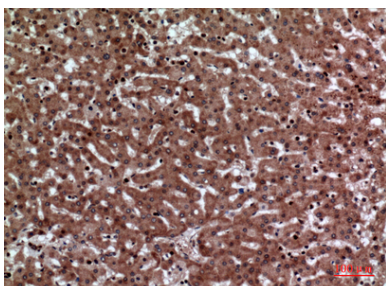
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

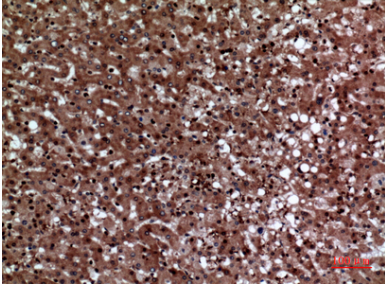
画像データ



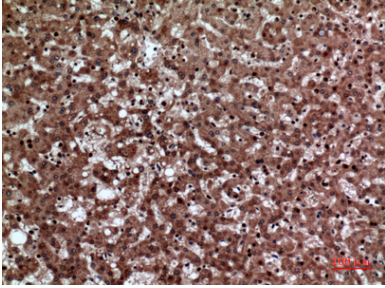
JAM-A ポリクローナル抗体を用いた PC12 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された